

●丹波佐吉の石仏(石造物)考 IV●

宇陀・平井・大師山四国 88ヶ所霊場石仏群

「第 20 番地藏菩薩・鶴林寺」および「五輪供養塔」について

「佐吉作」の可能性が大である!!! 2020・3・6 Coma-たんざく人 M・K

佐吉石仏について、最近色々と資料(画像など)を整理しています。

昨年 11・12 月の HP 上の「平井・大師山石仏群 撮る 8」に、「五輪供養塔」の刻字について、「佐吉の作？」ではないかと言いたが、その点について「大師山石仏群」の石仏刻字をくわしく探っていくと、ますます「佐吉作」が濃くなってきています。

具体的に、刻字の画像を比べながら述べていきたい。

宇陀・平井・大師山石仏群第 20 番



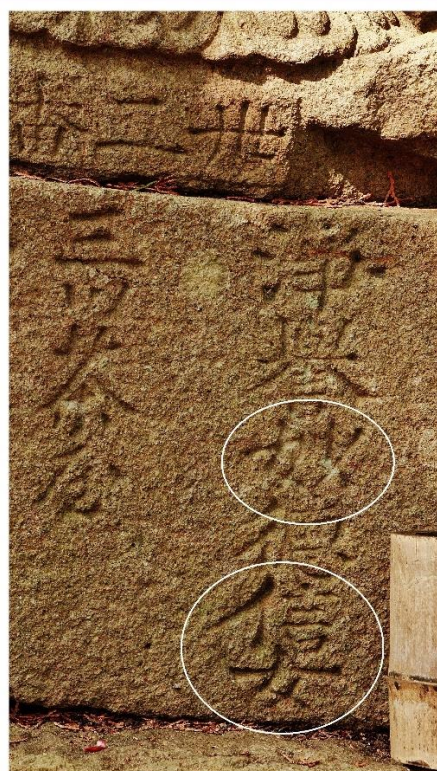
第 20 番地藏菩薩・鶴林寺と五輪供養塔



第20番石仏の右横 五輪供養塔正面刻字

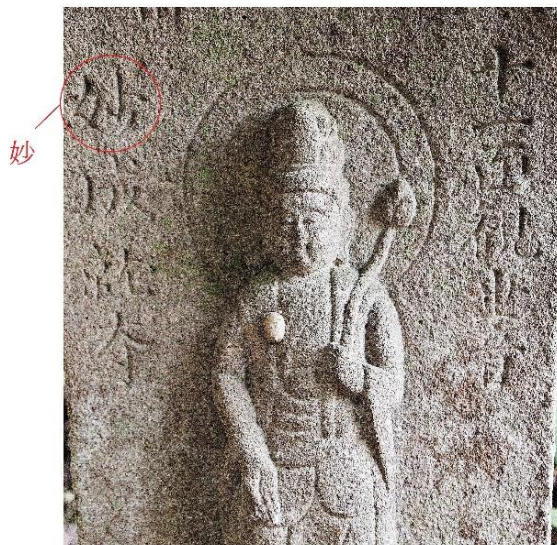


五輪塔正面刻字の「妙」
佐吉独自の 刻字か？



第32番 十一面観世音佐吉石仏
「妙」「信女」 刻字
「妙」は、佐吉独自の刻字なのか？

- ① 五輪塔と第 32 番佐吉石仏の台座の刻字を比較 ●五輪塔正面刻字の「妙」が、第 32 番十一面観世音佐吉石仏の台座の「妙」と同じ刻字である。「妙」の右側の「少」、3 画目と 4 画目が逆に刻字している。 ●「信女」 同じ刻字である。



第79番石仏 十一面観世音の「妙成就寺」の「妙」
佐吉作でない、他の石工の刻字の例

佐吉作でない石仏の「妙」の刻字例

第79番石仏十一面観世音「妙成就寺」

「妙」は、普通の書き順の「妙」である。

以上から、佐吉は、意識的に**独自の「妙」**を刻んでいる。



1番釈迦如来（佐吉石仏）の隣
番外 地藏菩薩立像 佐吉石仏
「法界」の刻字



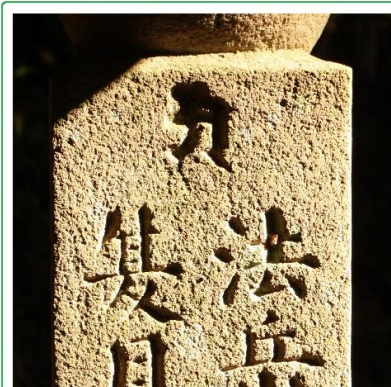
石仏群入口正面 番外・地藏菩薩立像
佐吉石仏の刻字「法界」

「法」の刻字

番外・地藏菩薩立像の「法界」と比べてみる。

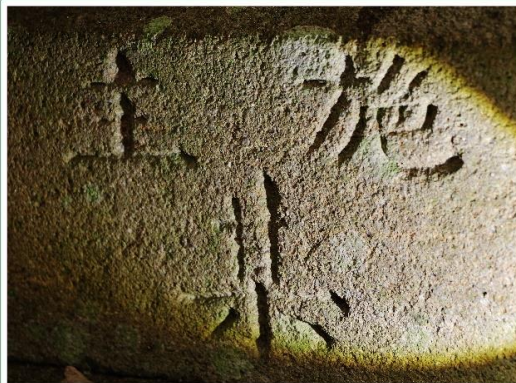
どちらも5画目の縦の刻を深くする字風が強うかがえる。また、五輪塔正面の刻字全体をみても、縦画目を深く刻する鋭くする特徴があらわれている。

佐吉の独特な技法である。



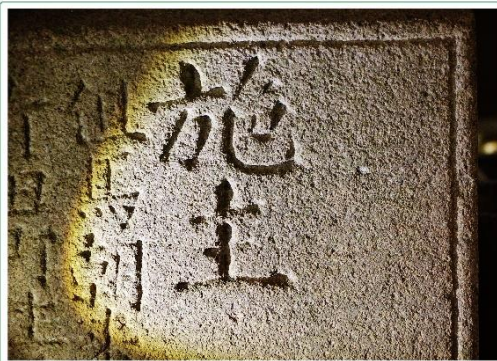
五輪塔正面刻字の「法」の拡大

② 五輪塔「施主」の刻字 第19番「施主」と法正寺「施主」と同じと考えられる。



五輪供養塔の「施主」の刻字

五輪供養塔の「施主」の刻字



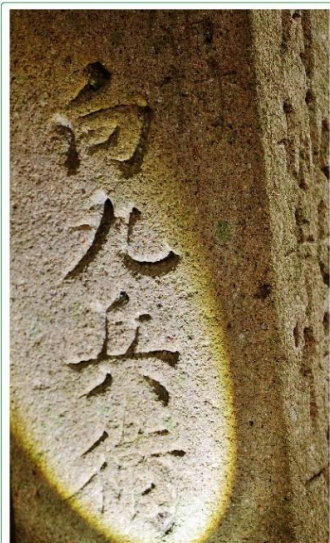
第19番地藏座像佐吉石仏「施主」の刻字 「施」 佐吉独白の刻字か？

第19番佐吉石仏「施主」の刻字
嘉永六癸丑四月立之 1853年



法正寺(宇陀市大字陀上新)
地藏菩薩立像の「施主」の刻字
佐吉石仏・安政2年・1855年

法正寺(宇陀市大字陀上新)
地藏菩薩立像の「施主」の刻字
佐吉石仏・安政2年 1855年



五輪供養塔の刻字 「向九兵衛」

五輪供養塔「向九兵衛」



第20番 石仏 地藏菩薩 刻字 「向九兵衛」

第20番石仏「向九兵衛」



五輪供養塔の刻字 「兵」「衛」 拡大

五輪供養塔と第 20 番石仏の「衛」は、明らかに違う「刻字」で、同一の石工の作ではない。「衛」の「巾」の刻字が、略して刻字しているのか否かである(旧字体の「衛」)。ですから、五輪塔を佐吉作と推定するならば、第 20 番石仏は佐吉作でないで、矛盾はしていません。「刻字」風は、五輪塔の方が、少し柔らかな「字」風におもわれる。



台座の刻字

第39番・薬師如来佐吉石仏

「九」の刻字の比較

第 39 番画像は佐吉石仏の「九」の刻字で、五輪塔の九兵衛の「九」と同じである。第 20 番の「九」と比べて、**少し丸みのある柔らかな「九」**である。

③ 五輪供養塔「紀年銘」 と 番外五重塔「紀年銘」 ・ 単独大師石仏「紀年銘」



五輪供養塔右側面の紀年銘
嘉永六丑歳九月建之 (1853 年)



五輪塔紀年銘刻字



番外五重塔(佐吉作) 紀年銘
嘉永六年丑八月建之 (1853 年)



単独大師石仏像(佐吉石仏) 紀年銘
嘉永六丑二月廿日 (1853 年)

◆「嘉永」の刻字が同じである。

◆「月」の刻字の 3 画目・4 画目が、微妙に少しだけ右上がりになっている点、その 3 画目・4 画目が、点のように刻し、1 画目・2 画目の縦画目には接していない点、佐吉の他の石造物の刻字にもよくみられる。このような点を考えると、佐吉の刻した五輪塔の紀年銘であると推定できる。

◆また、**石仏群全体で、紀年銘を刻している石造物は、すべて佐吉の作**であるから、必然的にこの五輪塔も佐吉作と考えてもいいのではないか。

五輪供養塔は、佐吉の石造物である！！！！

以上の①、②、③から、五輪供養塔(刻字)は、**佐吉の作**だと判断してもよいと思われる。

また、「梵字」を刻する点は、佐吉作の

「第 45 番総供養塔」

「ひな女石仏(第 32 番石仏の隣)」

「正面入口番外の地藏菩薩立像」

「番外の五重の塔」

と共通している。

2020・3・6

Coma-たんさく人 M・K